

# 8. 地震による天草地域の振興施策への影響について

## 楠本千秋質問

最後に知事にお言葉をいただきたいと思ひます。崎津集落の世界遺産に向けた取り組みを牽引いただいた、蒲島知事の思いも特別なものと拝察しますが、名称にも天草が入り本当にありがたく思ひます。このチャンスを活かし、天草地域の交流人口の増加のための振興施策が期待される所です。これを支える基盤は、「本渡道路」を含む熊本天草幹線道路の早期完成です。私は、昨年も天草地域の振興施策について知事にお尋ねし、知事からは、オール天草で、“まち・ひと・しごとづくり”の好循環を生み出し、天草版地方創生に向けた取り組みや、地域の特性を最大限に生かした交流拡大等の取り組みを積極的に支援していくと答弁いただきました。いい流れを活かし、昨年知事が答弁されたような取り組みにつながっていけばよいのですが、熊本地震の影響で地元では不安視しています。天草地域の振興施策を進めるといふ強固たる意思を知事の言葉でお話いただきたいと思ひます。



蒲島知事

## 蒲島知事の答弁

今回、崎津集落が世界遺産の国内推薦候補として改めて選定され「天草」の名称も追加することができました。私は、震災被害が比較的少なかった天草地域には、熊本地震復興の大変重要な役割を期待しています。天草の振興こそが、県全体の復旧・復興を牽引していく役割を果たすものと考えます。そのため、県では、熊本天草幹線道路の早期完成を目指すとともに、豊富な地域資源を活用した地域振興など、他の地域をリードする積極的な取り組みをしっかりと後押しして参ります。

## 楠本千秋まとめ

蒲島知事よりご答弁を頂きました。

天草にとって力強い、大変ありがたい言葉を・決意を頂いたと思ひます。ありがとうございます。11月29日に新天門橋もつながりました。12月11日には国道57号宇土道路の起工式が、九州地方整備局で執り行われました。一歩一歩確実に進み、繋がって行くことを確信しております。お礼を申し上げ今回の一般質問を終わりたいと思ひます。

# 写真で見える出来事 2016



1月7日  
天草エアライン新型機の安全祈願祭



1月10日  
永年続く方原地区の敬老会



1月25日  
大雪で生活も大混乱



2月20日  
天草エアライン ATR42-600 就航式典



2月20日  
大雪被害を蒲島知事が視察(下浦地区にて)



2月27日  
2019年ラグビーワールドカップが熊本にやってくる!“子ども教室”本渡運動公園陸上競技場にて

# 写真で見える出来事 2016



3月12日  
四半的県大会 天草市民センター



3月 知事選挙で天草遊説の蒲島知事、地方創生担当大臣の石破氏



4月26日  
熊本地震、被災地視察



5月28日  
天草ライオンズ旗小学生フットボール大会



6月22日  
参議院選挙で来熊した安倍首相



8月5日  
熊本天草幹線道路国交省陳情



8月6日  
天草ほんどハイヤ祭り道中総踊りの審査!(原田悠里さんもいっしょに)



9月25日  
天草五橋開通 50周年Hand in Hand(ギネス達成!)



10月12日  
農林水産常任委員会管外視察(千葉県銚子市)



10月26日  
国際スポーツ特別委員会で宮城県仙台市を視察



11月2日  
2019/ハンドボール世界選手権熊本大会実行委員会総会



11月3日 第13回天草陶磁器展



11月10日  
2019ラグビーワールドカップ大会会場視察(うまかなよかなスタジアム)

## 熊本県議会議員

# 楠本ちあき

〒863-0043 熊本県天草市亀場町亀川63-15  
TEL(0969) 23-2633  
FAX(0969) 23-2634



ホームページをリニューアル!  
最新の情報をリアルタイムでお届けします!  
【ホームページ】  
<http://kusumotochiaki.com>  
【メールアドレス】  
✉ [chiaki.kusumoto@a.acn-tv.ne.jp](mailto:chiaki.kusumoto@a.acn-tv.ne.jp)  
✉ [chiaki3@wave.plala.or.jp](mailto:chiaki3@wave.plala.or.jp)

# 楠本ちあき県議会だより



蒲島都夫県知事

## 明けまして おめでとう ございます

ご家族お揃いで新年をお迎えのこととお喜び申し上げます

昨年の熊本は試練の一年でした。1月天草の大雪、山間部においては50cmを記録、デコボン等のハウスに約3億4千万余の被害が出ました。4月には、震度7を2回記録する、熊本地震が発生、甚大な被害をもたらしました。改めて、不幸にしてお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されました皆様に心からお見舞申し上げます。本震発生の16日は、蒲島知事3期目の就任の日で、「知事は、傷ついた郷土の復興こそが私の3期目の使命」と決意表明されました。知事と県議会、ともに復旧・復興に向け、震災対策関連予算の早期執行に努めてまいりました。補正予算を含め、例年の2倍弱の1兆3,800億円余の予算対応ができました。

昨年の12月定例会において、天草振興関連(天草管内の高校教育・崎津の世界遺産登録、天草の畜産振興、瀬戸第二架橋の早期完成、そして地震による振興計画に遅れないよう)等の一般質問をしました。(本文に記載) なんとと言っても天草の喫緊の課題は、熊本天草幹線道路の早期完成です。特に「瀬戸第二架橋」の早期着工です。皆様のご支援を頂き、チーム天草で取り組みます。本年が天草にとり躍進の年であることを願い、皆様のご家族が健康で幸せ多い一年であることを祈念し年頭のごあいさつとします。





熊本県議会 平成28年12月定例会 一般質問

## 1. 天草地域における 高校教育について



楠本千秋質問

天草管内の高校の、中学校卒業後の進路を調べたところ、平成17年度の卒業生1,055名中216名(20.4%)が島外へ、昨年の平成27年度の卒業生794名中194名が島外へなんと24.4%になります。この11年で、10,140名が卒業し、2,184名の高校生が熊本市を中心に天草を離れています。

高校卒業までは、地元で家族の元に残れるような、環境・システムづくりは出来ないものか。教育委員会としてどのように考えておられるのか、その対応策はあるのでしょうか、教育長にお伺いします。



宮尾教育長の答弁

高校進学など進路の選択に当たっては、進路先の正確な情報の把握が不可欠で、各高校の魅力を発信していくことが重要であると考えております。

天草地域の高校では、「学校だより」を中学校に送付して、身近に感じる取り組みや部活動の合同練習での交流を進めています。

また、中高での公開授業への積極的な参加を促し、相互理解に努め、中学校の生徒・保護者の関心事を把握し、効果的なPRにつなげています。

中学校と高校の連携を深めるための更なる取り組みを推進して参ります。

## 2. 天草拓心高校マリン校舎について(要望)

楠本千秋要望

県立苓洋高校・天草拓心高校には、県内唯一の海洋コースがあります。

来年3月には、県立拓心高等学校マリン校舎となります。マリン校舎(苓北町)と本校「拓心高校」との距離は25キロ程あり、実習船も抱え、現在の教職員数は60名です。県内唯一の「海洋科学科海洋航海コース」を持つ学校として、充実した態勢となるよう検討いただきますよう、県教育委員会にお願ひし、要望とさせていただきます。

## 3. 世界遺産登録に向けて 取り組みについて

楠本千秋質問

崎津は1569年、イエス会修道士アルメイダによって布教が開始され、ほとんどの村人がキリスト教徒となったといわれています。集落内には教会堂や宣教師のレジデンシア(住居)が作られ、教会を支援する信仰組織として3つの小組からなるコンフラリア(信仰組織)が形成されています。

ルイス・フロイスの「日本史」によれば、崎津集落は「さしのつ」と呼ばれ、信仰拠点として重要視されていたことが記されており、それを裏付けるように布教期のメダイやロザリオが伝えています。

知事は、本年9月12日の本会議においては、「国内推薦候補として天草の名が明記された上で再び世界文化遺産登録に挑戦できることは、熊本地震からの復旧・復興に取り組む県民に勇気を与えるもので、大変嬉しく思っている。」と述べられています。

今回「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」と、天草という地名が盛り込まれ、絶好のチャンスと大いに期待が持たれています。

そこでお尋ねですが「天草の崎津集落」の世界遺産登録に向けての県担当職員の配置は充分なんでしょうか。周知活動やこれからの取り組みはどうなっているのか。それから、地元天草市と県の協力体制は上手く言っているのでしょうか。

企画部長にお伺いします。



島崎企画振興部長の答弁

職員の配置について、現在の配置体制により、イコモスの助言を受け、「潜伏キリシタン」に焦点を当て、「天草」の名称追加の成果を上げることができました。

周知活動やこれからの取り組みは、路線バスへのステッカー掲示やテレビCM・ガイドブックの作成等を行います。それから、講演会や共同企画展の開催、今後も地元天草市と密に情報共有し、連携・協力しながら「天草の崎津集落」の価値を国内外に発信、平成30年の世界遺産登録に向け取り組んで参ります。



長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産を世界遺産へ！

## 4. 肉用牛生産基盤の 強化について



楠本千秋質問

天草は昔から畜産業が盛んであり、特に肉用牛繁殖経営は、農業の複合経営の柱として、また、中山間地域における重要な産業として発展してきました。

特に近年は子牛価格が高く盛況であることから、高齢者の方々も生き生きと、子牛のお世話をされています。

しかしその一方で、高齢化の進行と担い手の不足は否めません。

熊本県畜産統計での地元天草は、平成22年度と27年度を比較してみますと、肉用繁殖雌牛頭数は、4,001頭が3,385頭に、飼養戸数は481戸が330戸に減少しており、頭数で15%減少、農家戸数では実に31%という県全体を上回るスピードで減少しています。

繁殖農家の経営継続に向けた対策と肉用牛繁殖経営への新規参入に、県としてどの取組まれるのか、農林水産部長におたずねします。



濱田農林水産部長の答弁

全国第4位を誇る本県畜産の生産基盤として、繁殖経営は大きな役割を果たしています。県では、維持・拡大のため繁殖雌牛導入、肉用子牛価格安定制度を通じて、農家経営の安定化を図り、繁殖基盤の強化に努めてきました。

繁殖経営の支援策は、肉用牛ヘルパー事業の活用、飼料生産のコントラクター、組織の育成、水田や果樹の廃園を活用した熊本型放牧等に取り組んで参ります。

新規参入への支援策は、青年就農給付金事業を活用しながら、技術指導や空き牛舎や中古農機具を斡旋する新たな取り組みと、畜産クラスター事業を活用、家畜導入・施設整備・機械導入等を支援し、担い手の育成確保に全力で取り組んで参ります。

## 5. 県民の健康対策 について

楠本千秋質問

「健康づくり政策」の推進は、私が議員として取り組む大変重要なテーマです。「高齢者に優しく、健康で心豊かな地域づくり」を挙げて取り組んできました。

昨年9月の県議会初質問でもこのテーマで質問いたしました。その時蒲島知事は、「メタボ予防のため、徒歩通勤などダイエットに取り組んでみたが、健康づくりを個人の努力だけで行なうことは、とても難しいことを実感した」と述べられました。そして知事から「健康寿命を伸ばし、日本一の健康長寿県を目指していく」と力強い決意もいただきました。

「第3次くまもと21ヘルスプラン」の中で、生涯を通じた健康づくりとして、①健康・食生活②身体活動・運動③歯・口腔の健康④睡眠・休養⑤喫煙⑥健診受診率向上を掲げ推進されています。

私は、この中でも特に運動が大事だと考えています。中高年の時期から健康で心豊かな生活を送れば、健康寿命が延び、ひいては医療・介護費の抑制にもつながる。

そこで、運動を始めとして、県民が実践できる環境づくりに、県としてどのように取り組んでいるのか、健康福祉部長にお尋ねします。



古閑健康福祉部長

古閑健康福祉部長の答弁

習慣的な運動の実践は、健康寿命を延ばすのに大変重要です。人には「歩き」の勧めで「くまモン歩数計アプリ」の普及。企業には、健康づくりに取り組む「プロセクト応援団」を推進、登録団体300を

目指します。

市町村には、天草市の「健康づくりポイント制」を来年度以降、他の市町村での実施拡大につなげます。そのほか、県全体での気運醸成を図るため、各種メディアを活用したキャンペーンや啓発セミナーの開催など環境整備に努めて参ります。



くまモン歩数計アプリ

## 6. 身近な公園に健康遊具 設置について(要望)



楠本千秋要望

少子高齢化で子どもの公園利用が減少する一方で、公園に集う中高年が増加。健康づくりや仲間づくりそして老化防止に役立ててもらおうと、公園に中高年が楽しめる「大人用健康遊具」の設置が

増えています。

高齢者の自立した生活を妨げる要因は様々なものがありますが、その中で4分の1を占めているのが、「ロコモティブシンドローム」と呼ばれる骨や関節、筋肉、神経など「運動器の疾患」による移動機能の低下です。この「ロコモ」対策にも、効果を上げるのが健康遊具です。

国土交通省2004年の調査で全国に設置台数9,600台。2010年の調査で全国に設置台数20,500台余と急増しています。

兵庫県伊丹市では、60箇所、仙台市でも48箇所と、設置の動きは全国的に広がっています。

少子高齢者社会の進展に伴い、高齢者を取り巻く環境が変化する中で、公園に求める市民ニーズは多種多様化、健康遊具の設置もその一つだと考えられます。

県としてモデル公園の設置や市町村の取り組みに支援を検討くださいますよう要望させていただきます。

瀬戸町金比羅さんより見たイメージ図



## 7. 熊本天草幹線道路 「本渡道路」の今後の 取り組みについて

楠本千秋質問

熊本天草幹線道路は、渋滞の慢性化解消・緊急災害時への対応・地域産業の活性化・観光振興等と天草が抱える多くの問題を解決してくれる、天草島民の夢を可能にする道路です。

県におかれては、一日も早く開通させるため、都市計画法に基づく認可手続きを進めておられますが、事業認可の内容や今後のスケジュールについて、それから、1回目の地権者説明会は終わったと聞きますが、どのような反応だったのか土木部長にお伺いします。



手嶋土木部長の答弁

熊本天草幹線道路は、熊本都市圏と天草地域を結ぶ地域高規格道路であり、県土の横軸となる重要な道路です。

地震からの復旧・復興プランでは、道路の多重性確保のために整備を図る路線として位置付け取り組んでい

ます。

本年9月に国の事業認可を取得。今後は、計画的な事業執行が可能になります。

地権者を対象の説明会では、代替地に関する質問や、工事中及び共用後の騒音対策を求める意見等をいただきました。今後は、地権者の事業へのご理解とご協力を得るため、丁寧な説明を重ね、地元天草市とともに全力で取り組んで参ります。